深川東京fykagawatokyg。modankan new モダン館だより

世曜 **圓橘の会** 12月20日(±)15:00~ (開場14:30) 三遊亭圓橘 萬丸

「もぐら泥」 谷崎潤一郎戯曲「お国と五平」

新春圓橘一門会 1月2日逾·3日(±) 16:00~ (開場15:30)

阿田とも 圓橘、萬橘、朝橘、萬丸、萬次郎

圓橘の会・一門会ともに 各回 3,000 円

※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

2025 年 12 月・2026 年 1 月のカレンダー

その他の催し物の詳細は 2・3・4面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
1 休館日	2	3	4	5	6 三味鼎話	7
8 休館日	9 おきがる講座	10	キッチン 11 松ぼっくり 営業日	12 円楽一門会	13	14
15 休館日	16	17	18	19 おきがる講座	20 圓橘の会	21
22 休館日	23 噺+話	24	25	26	27 臨時休館日	28 臨時休館日
29 臨時休館日	30 臨時休館日	31 臨時休館日	2026年 1 臨時休館日	2 新春落語会	3 新春落語会	4
5 休館日	6	7	キッチン 8 松ぼっくり 営業日	9	10 みやぎクラフト展	11 みやぎクラフト展
12	13 休館日	14	15	16 円楽一門会	17	18
19 休館日	20	21	_{キッチン} 22 松ぼっくり 営業日	23	2 4 講談会	25
26 休館日	2 7 噺+話	28	29	30	31	

2025年12月・2026年1月の催し

味県話講談と落語と講座と 12月6日(土)14:00-16:00

講談「心中奈良屋~清水次郎長伝より」 神田 陽子 落語「「身投げ屋」 橘家 蔵之助 講座「「砂村隠亡堀」の背景」

龍澤 潤

予約·当日 2,000円 定員 30 名

※11月18日(火)10時から受付開始

モダン館門薬

各日程 14:00~16:00 (開場13:30) 演目は当日のお楽しみ

12月12日(金) 楽麻呂 鳳笑 好志朗 兼矢 ※11月26日(水)10時から受付開始

1月16日(金) 楽麻呂 好太郎 愛楽 兼太郎 愛二郎 ※1月2日(土)10時から受付開始

> 予約·当日 2,000円 定員 50名 それぞれ 龍澤潤による「深川と落語にちなんだ話」があります

各日程 14:00~15:30 (開場13:30)

12月23日(火)三游亭歌扇「井戸の茶碗」 ※12月5日(金)10時から受付開始

1月27日(火) 柳家小志ん「つぼ算」 ※1月15日(木)10時から受付開始

それぞれ 龍澤潤による「演題にちなんだ話」があります

両日 予約·当日 1,500円 定員 20 名

くらしのクラフト展

1月10日(土)10:00~17:30 11日(日)10:00~15:30

秋保の木工や雄勝硯、新型こけしなど宮城県の工芸品をはじめ、ワインなどの販売とともに 工芸品のワークショップ(下記)も行います

①箸の漆塗り体験(10 日 11:00-13:00、20 名、2,000 円) ②小物入れトレーづくり(両日、1,100 円)③手すき和紙体験(11 日 10:30-13:30、500 円) ④書初め体験(10 日 14:00-16:00、無料) 予約受付:それぞれ 12 月 9 日(火)10 時から

共催:みやぎ地場産品開発流通研究会 手しごと AKIU 後援:公益財団法人仙台観光国際協会 <mark>※おはぎの販売は今年は行いません</mark>

共催

1月24日(+)14:30~

(開場14:00)

新春講談会 ~華の共艶

予約・当日 一**般:3,000 円 小~高校生:1,500 円** 定員:50 名 (要予約) 全席自由席

後援:一般社団法人日本講談普及協会・日本講談協会 ※12月16日(火)10時から受付開始



神田 陽乃丸 神田 陽子 神田 桜子 神田紫 神田紅

神田 紫天

江東区の歴史を学ぶ講座

東京市社会局と深川区 再 ※11月18日 (火) 10時から受付開始 12月9日(火)14:00~15:30 12月19日(金)14:00~15:30 深川商人西村郡司の八街開墾

※11月26日(水)10時から受付開始

※各回とも 受講料:500円 定員:50名(要予約) 講師:龍澤 潤(深川東京モダン館)

モダン館ボランティアガイドだより (36)

深川と落語 その世界



「孝行糖、孝行糖、孝行糖の本来は、粳の小米 に寒ざらし・・・」。子供の頃、ラジオやテレビ から流れてきた落語で記憶に残るのは三代目三 遊亭金馬の『孝行糖』。「チャンチキチ スケテ ンテン」の囃子ことばも楽しかった。もう少し 後になると、「山のあな、あな、あな」の二代目 三遊亭歌奴、「どうもスイマセン」の初代林家三 平が登場します。

この金馬と三平にゆかりの場所が洲崎神社の 「名人竿忠の碑」。この碑は江戸和竿の名人中根 忠吉・初代竿忠の碑で徳冨蘇峰の揮毫です。三 代目竿忠の長女が三平の妻・海老名香葉子、兄 の三男が四代目竿忠を継いでいます。釣り好き で三代目竿忠を贔屓にしていた金馬は、東京大 空襲で戦災孤児になった香葉子を引き取り、や がて三平に嫁がせる。石碑裏の玉垣には海老名 香葉子、四代目竿忠の名も見えます。

落語の主人公が眠る墓がある。富岡八幡宮の 横綱碑に六代目として名を刻む阿武松緑之助で す。墓は三好1丁目の玉泉院墓所。阿武松は寛 政 3 年(1791) 石川県能登町生まれ、25 歳で 江戸に出て武隈、錣山の弟子となる。落語の『阿 武松』では大飯食らいで武隈を破門になり、故 郷にも帰れず食べられるだけ食べて死のうと決 心。宿の主人に食べっぷりを見込まれ錣山に世話 してもらい、やがて武隈を破り出世する。大飯食 らいで破門はどうも落語での創作みたいだ。この 噺を得意にしていたのが六代目三遊亭円生でげす。

円生と共に昭和の落語界を担ったのが、五代目 古今亭志ん生、八代目桂文楽。森下にある桜鍋の 店「みの家」には落語協会の面々が足しげく通い ました。明治 30 年創業で現在の木造店舗は昭和 29年に建てられる。かつては木場で働く常連さん が多く、銘木を集めた贅沢な造りです。ここに飾 られているのが、志ん生と文楽が昭和 30 年の改 築祝いに贈った額、志ん生が舞台出演した記念の 羽子板。古今亭志ん朝の暖簾や志ん朝同期連中の 手ぬぐいなどもあります。落語好きにはたまりま せんね。

落語とのつながりが深い深川ですが、『新東京遊 覧案内』(大正3年、片桐以直、赤山堂)【写真】によ ると、常設の寄席は8軒です。ちなみに日本橋・ 京橋には20軒。日没頃から夜10時頃まで楽しみ 木戸銭は20銭前後とのこと。現在、深川では定 席はありませんが深川東京モダン館をはじめとし て、深川不動堂、陽岳寺など、さまざまな場所で 落語会が開かれています。たまには江戸っ子の料 簡にひたりませんか。





(文と写真 江東区文化観光ガイド 渡邉 信夫)

『新東京遊覧案内』 (大正3年、片桐以直、 赤山堂)

> 深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内(10時~16時)および ご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー(1時間程度、11時・14時出発)を行って います。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

給食の懐かしい味! キッチン松ぼっくし

12月11日(木)11:45~14:00

ピラフ 鶏肉のチャンチャン焼き■

南瓜のミルク煮 ゆず香添え フルーツポンチ

1月8日(木)11:45~14:00

1月22日(木)11:45~14:00

炒めそば五目あんかけ■

七草風ご飯 松風焼き あんだれ れんこんの炒めもの なます

わかめ入りスープ りんごとさつま芋の甘煮

各 850 円

サイドメニュー 揚げパンは 50円

※受付は各日とも当日の10:00から(開館は10:00) ※完売次第、閉店いたします ※ラストオーダーは13:30です ※ご予約はできません ※メニューを一部変更する場合があります



写真はイメージです

ガイドブック・お十産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや 江東区の文化財ガイドなどを販売しています (お支払いは現金のみ)

江東区産はちみつ 百花蜜 50g 500円 📾 110g 1000円(#EA)



NPO 法人 江東区ハニービー・プロジェクト

新商品 コトミちゃん

おさんぽクッキー 800円 🔊 コロコロボーロ 350円 📖



百圓珈琲

IF カウンターでは 100 円のコー ヒー各種をご提供しております。 日替わりホットコーヒー、「モダ ン館ブレンド」(しっかり・すっ きり)をご用意。まちあるきの

休憩時や会社 のお昼休み中 の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00

休館日:月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)

※12月27日~1月1日は臨時休館

「深川東京モダン館だより」第149号(2025年11月20日) 発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館 〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com ホームページ www.fukagawatokyo.com



